

3・24大結集で4月二期着工策を粉砕せよ

動労千葉

三里塚・国鉄決戦の爆発で中曽根を倒せ



三月三日、辺田・天神橋において、反対同盟、動労千葉を始め、四百名の労働者・住民の結集で成田用水工事粉碎、四月二期本格着工粉碎三里塚現地集会が開催された。



集会は、反動中曽根の八五年二期強行宣言を受け、①土地収用委員会が四月にも土地収用手続き作業を開始、団結小屋の年内撤去策動などの強制土地収用攻撃、②二期工事用道路建設強行攻撃、③敷地内反対同盟破壊を狙い、敷地内脱落派の代替地への移転を推進、そのため、二期用地内自主耕作地の表土をブルドーザーではがし、代替地へ運び入れる攻撃、④敷地内・外の分断を策す成田用水工事を四月以降辺田・中郷地区へ拡大する攻撃、そして⑤東峰十字路裁判での超反動重罪求刑攻撃など、反対同盟解体―強制土地収用―四月二期本格着工への大攻撃が急進行するという緊迫した情勢の中で断固としてかちとられた。

集会では、反対同盟事務局長・北原鉦治氏、芝山町議・鈴木幸司氏、敷地内・小川耕平氏がそれぞれ「三里塚は正念場中の正念場を迎えた。二〇年間権力と妥協せず闘いぬいてきたことは正しかった。中曽根の戦争への道を阻止するためにも三里塚にかけられた全ての攻撃に対し怒りをもって断固闘いぬく。3・24全国から総結集しよう」と熱っぽく訴えられた。動労千葉の代表も「60・3第一波闘争を引きつぎ、3・24三度の5割動員を実現し、三里塚・国鉄決戦勝利、中曽根打倒へ共に闘う」と決意を明らかにした。



どんな血を流しても松丸尾を死守する 決戦突入の北富士で超断固

3月3日、松丸尾入会林の強行伐採、入会管理小屋の強制撤去の攻撃の切迫する情勢のなかで、北富士現地闘争が開催された。

集会の前日、山梨県当局は、忍草入会組合からの脱落・除名の第二組合と、立木売買契約を結ぶという暴挙に出た。入会組合・母の会が40年間、命をかけて守り、育てあげてきた入会地Ⅱ松丸尾を脱落・除名組合が売り飛ばしたのだ。今日、明日にも裁判所は、入会小屋撤去の仮処分をおろし、権力機動隊を導入しようとしている。

集会は、かつてない怒りにつつま

れた。母の会は「松丸尾はどんな血を流しても死守する。守るだけでなく、今をもつて私達は、敵のあらゆる拠点にゲリラとなって攻めこむことを宣言する」と提起し、また、入会組合・天野会長が「本日ここに松丸尾正当防衛戦争に突入する」と断固たる号令を発した。

動労千葉からはこの日青年部代表9名が参加し、繁沢青年部書記長が、「いつでも決戦の北富士にかけつける」と決意表明した。

集会の後、東富士軍用道路の建設現場にむけて、入会組合・母の会を先頭に戦闘的デモを貫徹した。

85. 3. 9

No. 1884

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七